

この資料は、地域福祉計画策定用の次世代育成支援行動計画進捗状況概要です。

次世代育成支援対策行動計画 (東村山子育てレインボープラン)			主な取組み(事業名称等)	これまでの取組みと進捗状況	今後の方針・課題等	備考(その他)	
基本目標	テーマ	施策					
子育てを支える地域をつくるために	1. 子ども家庭支援センターの機能充実	(1) 子育てに関する総合的な相談窓口の整備	幼児相談室・教育相談室を含む相談機能の整備・充実	子ども家庭支援センターでケースワークの情報共有を行った	子どもに関連する機関の連携をより密にする		
		(2) 子育て支援の中核的機能の充実	先駆的子ども家庭支援センターへの移行	虐待対策を含め先駆的子ども家庭支援センターとして推進を図った	職員スキルの向上と関係機関とのネットワークの充実		
	2. 子育て関連情報の提供	(1) 子育て関連情報の一元化	子ども家庭支援センターと子育て総合支援センター等における情報発信	それぞれの役割を整理を検討した	子育て家庭からの情報と子育て家庭への情報に整理して検討をしていく		
		(2) ネットワーク化の推進	エリアネットワークの形成 インターネットの活用 庁内ネットワークの推進	東西南北4エリアでネットワーク会議を開催 関連ページへのリンクの充実 庁内の横断的体制の整備	エリアにおける活動の充実 ホームページの見直し 連携体制の充実		
		(3) 情報提供・内容の充実	子育て情報誌等の充実	情報誌「なないろぼけっと」の発行 エリアにおける子育てマップの作成	子育て家庭のニーズの把握、内容や提供方法の充実		
	3. 子育てひろば事業の展開	(1) 子育てひろば(A型)の充実	ほんちょう子育てひろば みすみ子育てひろば ころころの森	児童館に併設しているひろばを実施	A型ひろばから多様なひろばへと方針を変更していく		
		(2) 多様なひろば事業の展開	のぐちちょう子育てひろば	保育園、子育て総合支援センター、空き店舗といった様々なひろばの整備を行った	児童クラブの空き時間の「おひさまひろば」や民間のひろばとの連携		
	4. 子育てサークル等への活動支援	(1) 子育てサークル等の連携支援	子育てサークル登録 子育てサークル交流会	ころころの森においてサークルの登録や交流会の開催	単なる利用者からステップアップをさせていく		
		(2) 子育てサークルや自主保育等との協働	NPO法人への支援 計画策定への参加 活動場所の支援	トコトコ通信発行(情報誌) 活動場所の支援(ころころの森、地域活動室、児童館育成室)	単なる仲良しサークルではなく、地域で自主的な活動をするサークルを増やしていく		
	5. ファミリー・サポート・センターの円滑な運営と活用	(1) 円滑な運営体制の確立	会員の拡大 講習会の開催	22年3月末: 依頼1,267名、提供220名、両方27名	病児・病後児の預かりの実施 講習会開催		
		(2) ファミリー・サポート・センターの活用と充実	サービス内容の広報 保育所等との連携	市報、広報誌、インターネット等での広報 保育所連携システムの確立	情報の周知徹底		
	母性及び乳幼児の健康を守るために	1. 妊娠・出産・育児に対する支援	(1) 妊産婦健診の充実	妊婦健診 産婦健診 妊婦歯科健診	妊産婦の健康管理を支援しながら、育児不安を取り除いていくような支援を実施	国都の補助金の情勢	
			(2) 知識の普及と啓発	母親学級 パパママ教室 母子手帳交付時に全数相談 妊産婦、新生児訪問 子育てサロン等実施 乳幼児学級	育児不安を取り除くとともに仲間づくりを支援 母子手帳交付時に健康相談も実施 母子の心身の異常の早期発見 各種フォロー事業実施	知識を普及するとともに、不安や異常等を早期に発見していく	
			(3) 育児不安の軽減	乳幼児子育て相談 健診後の継続相談	ひろば等での専門相談の実施	こんにちは赤ちゃん事業(新生児全戸訪問)の実施(H23.10開始予定)	
			(4) 仲間づくりの推進	各事業での配慮 ひろば、サロン等配慮 子育てサークルの紹介	母親学級などでのグループワーク実施 ひろば等の紹介 サークル活動の紹介	関係機関等との連携強化	
(5) 家庭内での事故防止			健康教室 パンフレット配布	保健師による集団指導、パンフレット配布	啓発や相談の充実		

この資料は、地域福祉計画策定用の次世代育成支援行動計画進捗状況概要です。

次世代育成支援対策行動計画 (東村山子育てレインボープラン)			主な取組み(事業名称等)	これまでの取組みと進捗状況	今後の方針・課題等	備考(その他)
基本目標	テーマ	施策				
母性及び乳幼児の健康を守るために	2. 健やかな発育・発達への支援	(1) 乳幼児健診の充実	3～4ヶ月健診 1歳6ヶ月健診 3歳児健診	受診率の向上を図るとともに、未受診者への対応を行った 図書館との連携で、本の紹介、待ち時間の読み聞かせ	受診していないケースの対応 丁寧な健診が必要だが、待ち時間の増加も課題	
		(2) 歯科健診の充実	保育所等への出張指導 むし歯予防教室 かかりつけ歯科医の推進	各保育所への出張指導 かかりつけ歯科医での健診や予防教室	情報等の連携	
		(3) 保健・健康情報の管理	乳幼児健診データの管理	母子保健手帳の活用 データの一元化の検討	システム開発、個人情報等の課題	
3. 小児医療体制の確保	(1) 小児医療体制の確保	インターネットによる情報発信 かかりつけ医の推進 休日準夜応急診療 休日応急診療体制 休日歯科応急診療体制	医師会、歯科医師会と連携をしながら実施	休日、夜間における医療機関の確保		
		1. 保育サービスの充実	(1) 待機児の解消	入所ニーズの把握 認可保育所新設 認証保育所 認可外保育所 保育ママ	本町北ブロックに新設認可保育園開設 定員の弾力化 各施策との連携	いくつかの対策を実施しているが、待機児については、増えている状況である
			(2) サービス供給体制の充実	通常保育 障害児保育 延長保育 一時保育 年末保育 第三者評価	定員の弾力的運営 障害児受け入れの拡大 13時間保育1園で実施 一時保育認可5園で実施	待機児増加への対応
安心して子育てをするために	2. 地域における子育て支援サービスの充実	(1) 居宅における子育て支援の推進	ファミリー・サポート・センター 産後支援ヘルパー 養育家庭制度	ファミリー・サポート・センターにおける一時預かりの充実 育児支援ヘルパーの派遣	ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児預かりの実施	
		(2) 施設における子育て支援の推進	認可保育所の子育て支援事業 ショートステイ おひさま広場 幼稚園預かり保育	保育所におけるひろば、専門相談等の実施 ショートステイによる緊急受け入れ 児童空き時間のおひさま広場 幼稚園独自の預かり保育	病児・病後児保育の実施の検討	
		(3) ひとり親家庭の支援	相談の充実 東京都母子福祉資金貸付制度	子ども家庭支援センターにおける相談の中で、他機関との連携を充実させていった	ひとり親家庭としての専門の所管がないことから、どのように総合的な対応を行うのか	
		(4) 障害児施策の充実	心身障害者通所訓練事業「ポッポ」 児童クラブにおける障害児受け入れ	関係機関との連携 受け入れの拡大の検討	児童クラブ希望者の増加による障害児受け入れの拡大の困難性	
		(5) 子育てにおける経済的支援等	乳幼児医療費助成 児童手当(子ども手当) 保育料負担	就学前全年齢所得制限撤廃 手当の周知徹底 保護者補助金の検討	財政難の中で、国、都の制度に市としてどこまで単独で補助をすることができるのか	
	3. 子育て意識の啓発	(1) 家庭における意識啓発	男性の育児意識の啓発	計画、各種事業(パパママ教室等)において男性の意識の啓発を図った	育メンなど一定の参加が得られるようになってきたが、今後も啓発を行っていく	
		(2) 職場における意識啓発	育児休暇の普及・促進	ポスター等で周知するとともに、市としても特定事業主として啓発を行った	一般事業主においては景気が悪い中でまだまだ、育児休暇は取得が難しい面もある	
		(3) 地域における意識啓発	次世代育成支援行動計画の普及・推進 子育てサポート講座の実施	インターネット、図書館等での計画の閲覧 児童育成計画推進部会での進捗管理 公民館における講座の実施	さらなる周知・徹底	
		(4) 権利や義務に関する意識啓発の推進・充実	児童虐待防止	パンフレットの配布・市報掲載による啓発	さらなる周知・徹底	

この資料は、地域福祉計画策定用の次世代育成支援行動計画進捗状況概要です。

次世代育成支援対策行動計画 (東村山子育てレインボープラン)			主な取組み(事業名称等)	これまでの取組みと進捗状況	今後の方針・課題等	備考(その他)	
基本目標	テーマ	施策					
豊かな子ども時代を過ごすために	1. 生きる力・豊かな情操や考える力を育てる読書活動の推進	(1) 読書環境や推進体制の整備	子ども読書活動推進計画 おすすめ絵本パックの設置 学校図書館の整備 子ども読書連絡会 読み聞かせボランティア 庁内連絡会	計画の推進 乳幼児へのおすすめ絵本の設置 子ども読書会による情報共有 ころば等への読み聞かせボランティア派遣 庁内の関係部署の連携	資料費の確保 人材不足		
		(2) 年代や生活環境に合わせた読書活動の推進	啓発パンフレット、ブックリスト作成 本の探し方・調べ方プログラム	乳幼児向けパンフレット・ブックリストを作成 分類ゲームを実施	効果的なPRの検討 学校図書館の整備		
	2. いきいき遊べる場所づくりと居場所づくり	(1) 公園等の活用による屋外遊び場の確保	市内公園の整備	遊具の補修、除草剪定作業	遊具の劣化による撤去 近隣住民苦情による球技の禁止 整備費用の確保及びボランティアの活用		
		(2) 児童館事業の充実	多様な事業メニューの検討 子育てサークルへの場の提供 開館時間の拡大 子どもの参加	中高生向き事業の展開 サークルへの育成室貸し出し 中高生対策としての夜間開館(1館) 中高生ボランティアの活用	財政難、場所等の問題により新館設置は困難 中高生のニーズの把握 施設状況による中高生への対応の困難性 子どもの積極的な事業参画		
		(3) 地域の施設の活用	学校開放 公民館の活用 スポーツセンター、運動公園 ふるさと歴史館・たいけんの里	スポーツ開放、教室開放、遊ぶ場開放、土曜講座 図書館併設館で夏休みに集会所を開放 プール、野球などで利用	居場所としての機能の充実 対応する人材の確保		
	3. 放課後における児童の育成	(1) 放課後児童対策の充実	児童クラブの建設 放課後子ども教室	児童クラブの大規模化解消のために第2児童クラブの建設 放課後子ども教室の実施(3校)	クラブの開設時間の延長の検討 人員確保、教室等の確保		
	4. 自ら学ぶ力の育成	(1) 体験等を通じて子どもが自ら学ぶことへの支援	輝け! 東村山っ子育成塾、なぎさ体験塾など 公民館による親子講座など	自然体験、海洋体験 文化活動 郷土を学ぶ機会	参加者の増減 企画の設定 予算の確保		
	5. 家庭や地域における教育力の向上	(1) 家庭や地域の教育力向上に向けた支援	家庭教育の手引書の配付 家庭の日 土曜講座	小学校入学時に手引書の配付 家庭の日のPR 青少年対策地区委員会等との連携	手引き書のあり方の検討 家庭の日のPR、啓発の充実 人材の確保		
	思いやりの心や生命を大切に、自分らしく成長するために	1. 子どもが自ら考え、参画する機会の充実	(1) 子どもが参画する土壌づくり	子どもフォーラム ころころの森ジュニアサポーター養成講座 学校による各種取組み	市民のつどいへの中学生参加 生徒会サミット 小学校5、6年生から中学生を対象にころころに森でジュニアサポーター養成	企画のマンネリ化 経費の確保 サポーターの活用の充実	
		2. 「いのちとこころの教育」の推進	(1) 人権教育の推進・充実	いのちとこころの教育週間 人権教育	全生園訪問等	各学校における実施内容の調整	
		(2) 「いのちの教育」「こころの教育」の推進・充実	いのちとこころの教育週間 救急救命講習 道徳授業地区公開講座	心身の健康やいのちの大切さを学ぶ 家庭や地域社会とともに道徳教育を推進	内容の充実 取組内容の周知の工夫・改善		

この資料は、地域福祉計画策定用の次世代育成支援行動計画進捗状況概要です。

次世代育成支援対策行動計画 (東村山子育てレインボープラン)			主な取組み(事業名称等)	これまでの取組みと進捗状況	今後の方針・課題等	備考(その他)
基本目標	テーマ	施策				
思いやりの心や生命を大切に、自分らしく成長するために	3. 生きる力を育成するための教育環境の充実	(1) 生きる力を育成するための教育環境の充実	学校公開 「東村山の学校教育」リーフレット作成 学校評議員制度 教員研修	「道徳授業地区公開講座」「セーフティ教室」等リーフレット等による教育活動の情報提供 各種研修での教員の質の向上	開かれた学校づくりの推進 予算の確保 年齢や、職層に沿った研修のあり方の検討	
		(2) 幼児教育に対する関係者間の交流推進	就学前児童の学校体験 就学前児童説明会、健診 総合学習での保育園訪問 ころころの森ジュニアサポーター養成 事前情報交換会等の実施 ころころの森での支援者研修会の実施	就学前児童の運動会への招待 総合学習での保育園・幼稚園への訪問 幼稚園児の学校訪問 小学校5、6年生及び中学生のジュニアサポーターの養成 各幼稚園、保育園等との事前情報交換会の実施	各施設との連携・協力の充実 サポーター・ボランティア等の活用 子育て支援者、教育関係者との共通の課題による研修会の開催	
		(3) 研修等の充実	子供家庭支援センターによる虐待における研修	ひろば関係者等との合同研修	子育て支援者、教育関係者との共通の課題による研修会の開催	
		(4) 子育ての意義や大切さを学ぶ機会の推進・充実	総合学習 いのちとこころの教育週間 職場体験	家族について考える機会 講演会実施 道徳教育、進路指導	職場体験の受け入れ事業所の確保 キャリア教育の一層の充実	
		(5) 特別支援教育の推進・充実	特別支援教育運営委員会 特別支援コーディネーター 特別支援教育に関する研修	特別支援教育推進計画に基づく特別支援教育運営委員会 個別指導計画 各種研修参加による専門性の確保	保護者との連携、理解 個人情報の管理 特別支援教育運営委員会での実績を校内委員会へとつないでいく体制整備	
		(6) 思春期保健に関する学習機会の推進・充実	性教育の実施 薬物乱用防止ポスター等による啓発 飲酒・喫煙の防止 セーフティ教室	指導計画に沿った性教育の実施 教育活動を通じた指導 薬物防止ポスター、標語の募集、講義など 道徳、保健体育等での指導	家庭への一層の啓発 地域住民への働きかけ 指導方法の検討	
	4. 食育の普及・推進	(1) 乳幼児期からの食習慣の定着	個別栄養相談 乳幼児学級における指導 各種試食会 芋ほり、調理保育 伝統食文化の継承	各所における個別の栄養相談の実施 乳幼児学級・健診時における指導 かんたんクッキング、給食試食会 各所での独自取組み 伝統食文化レシピ提供	各取組みの情報交換が不十分 衛生管理の難しさ	
		(2) 食に関する学習機会の提供	学校給食の啓発 児童館・公民館等の調理教室 保育所等での親子クッキング	給食、地場野菜の日、うどん給食、ランチルームの活用 親子調理教室開催	野菜の生産量による地場野菜の使用不足 衛生管理 参加日の設定	

この資料は、地域福祉計画策定用の次世代育成支援行動計画進捗状況概要です。

次世代育成支援対策行動計画 (東村山子育てレインボープラン)			主な取組み(事業名称等)	これまでの取組みと進捗状況	今後の方針・課題等	備考(その他)	
基本目標	テーマ	施策					
子どもの生命を守るために	1.虐待防止活動の強化	(1)児童虐待防止ネットワークの形成	ネットワーク会議の設置 マニュアル、パンフレットの作成	要保護児童対策地域協議会の開催(代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議) 児童虐待防止マニュアル及びパンフレットを作成し、関係機関及び保護者へ配布	さらなる関係機関との連携の充実 虐待の早期発見のため周知・啓発を図る		
		(2)保健事業と連携した取り組みの強化	各関係機関との連携	健診、子育てひろば、保育所、幼稚園、医師会、歯科医師会など各関係機関と連携を取りながら、虐待の早期発見や防止に努める	各機関とケースの共有をしていくための関係を構築		
	2.子どもを事故・災害から守る	(1)交通安全教育の推進	各イベント時における交通安全啓発講習会の開催	交通安全グッズの配布、自転車マナーアップ作戦、自転車実技教室、交通安全講習会	警察、東京都、東村山市交通安全協会等との連携		
		(2)災害等の対応策としての取り組み強化	児童及び教員等を対象とした救急救命講習	救急救命講習会、AEDの取扱い講習 中学校3年生対象の救命講習会	マウスピース等の予算措置 研修内容の精査		
	3.子どもを犯罪から守る	(1)犯罪防止のための啓発活動	青少協だよりの発行 各種チラシによる啓発	青少協だより等による啓発 PTAへの働きかけによる、インターネット・携帯電話等への注意喚起	情報の周知徹底 PTAや青少年対策地区連絡協議会等との連携		
		(2)青少年非行防止の活動	地域パトロール 不健全図書販売方法の適正化(青少年健全育成協力員制度)	防犯協会との情報交換 各団体での防犯パトロール等 青少年対策地区委員会での書店・コンビニに等の巡回	団体間の連携強化 地域との連携強化		
		(3)学校・児童クラブ等における安全対策の推進	セーフティ教室 避難訓練・防犯訓練 校内巡回警備、学校110番設置	家庭や地域と連携した非行・犯罪防止教室 避難訓練年間計画、安全指導年間計画 「地域安全マップづくり」 危機管理マニュアル作成 地域への協力を呼びかけ	参加の呼びかけへの工夫 危機管理の共有化 保護者及び自治会等地域関係者との一層の連携		
		(4)地域における安全対策の推進	防犯ネットワーク 防犯街路灯の設置 はっく君の家・子ども110番の設置	青少年対策地区委員会やPTA等との連携 危険箇所の点検と街路灯の設置 はっく君の家はPTA等からの依頼で各小学校から配布 学校110番は警察署から希望のあった箇所に	各団体間のネットワークづくり 防犯街路灯に伴う予算 子どもの駆け込み場所として抑止力の効果 今後の設置のあり方の検討		
	行動計画を推進するために	1.円卓会議構想	(1)子どもに関わる関係者・市民・行政・事業者の連携	児童育成計画推進部会 円卓会議の設置	学識経験者、一般公募市民、関係者等によって構成される児童育成計画推進部会を中心に子どもに関わる施策の検討を行った エリアにおける子ども問題を同じ立場で議論できる円卓会議の設置	子どもにおける課題の多様性 様々な課題について検討不足 全体的な円卓会議の開催	
			(2)エリア内における関係者の重層的連携組織の形成	エリアにおける円卓会議の設置	東西南北4エリアにおける取組み 東部(保育関連施設長会議)、西部(エリアネットワーク会議)、北部(子どもまつり、エリアネットワーク会議)、南部(子育てひろば、子どもまつり)	地域性を考えながら、住民参加による運営の推進	
2.行動計画の進捗管理		(1)進捗管理の仕組みづくり	庁内の連携的組織の形成 子ども関連所管の組織整備 レインボープランの進捗管理	次世代育成支援行動計画進捗における各関係所管との調整 子ども家庭部の設立(平成21年度) 計画の進捗状況調査票を作成、報告書としてまとめた	連携・横断体制の充実 今後の組織のあり方の検討 児童育成計画推進部会による計画の進捗管理		